

五大奉仕

五大奉仕とは、ロータリークラブ会員がクラブ内において行うべき奉仕活動を五つの奉仕に整理し、それを部門の活動（委員会活動）として示したもので、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕そして青少年奉仕があります。

1905 年に初めてロータリークラブが誕生したのちしばらくは、奉仕の定義や委員会活動なるものではありませんでした。その後さまざまな協議を経て 1927 年のオステンド大会で「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」の三部門が誕生、翌 1928 年ミネアポリス大会で「国際奉仕」が追加され、以後「四大奉仕」としてながらくロータリークラブ活動の枠組みとして定着しておりましたが、2010 年の規定審議会で「青少年（新世代）奉仕」が第五の奉仕部門として加わり「五大奉仕（部門）」となりました。

クラブ奉仕は、会員同士の関係をはぐくみ、積極的な会員増強計画を実行して、活気あるクラブづくりを行うことです。

職業奉仕は、すべてのロータリアンが倫理と高潔さをもって仕事にあたり、職業の知識やスキルを社会のニーズ解決のために進んで役立てることです。

社会奉仕は、すべてのロータリアンが、地域の人びとの暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献することです。

国際奉仕は、国際的なプロジェクトでボランティアをしたり、海外のパートナーとの協同活動を通じて、平和と相互理解を推進することです。

青少年奉仕は、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援することです。

五大奉仕（部門）についての詳細な記載は「標準ロータリークラブ定款」をご覧ください。

参考文献

MyROTARY <https://my.rotary.org/ja>

ロータリー百科事典 <https://sites.google.com/site/rotary100jiten/>

「奉仕の理念」が世界を救う 2013-14 年度 ガバナー本田 博己

http://www.rotary-bunko.gr.jp/pdf/333/333_005-1.pdf

標準ロータリークラブ定款 [constitution_club_ja.pdf](#)